

# 全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.150 2011年 9月29日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：中込 三郎

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



職業教育の日

## 平成23年度学校基本調査速報公表

### 専修学校の学生・生徒数は61万5千人

文部科学省より平成23年 5月1日現在の学校基本調査速報が公表された。

3月11日に発生した東日本大震災の影響を受けて、初等・中等教育段階と専修学校及び各種学校については、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）の学校基本調査提出期限を6月25日から10月30日まで延長したため、今回の速報値には、上記3県の数値は反映されていない（平成24年2月公表予定の確定値には反映。なお大学、短期大学、高等専門学校については、上記3県のデータも速報値に反映されている）。

今回の調査で専修学校の学校数は、3,115校、在籍者数は615,418人となった。

また、今春の高等学校卒業生1,008,492人に占める専修学校専門課程入学者の割合は16.0%、大学（学部）への進学率は48.2%、短期大学（本科）への進学率は5.8%、就職者の割合は15.9%となった。

専修学校、各種学校関連の主な速報値は次のとおり。

**【専修学校】**

◆**学校数** 全体では3,115校。

都道府県別の学校数は、東京都431校、大阪府238校、北海道180校、愛知県176校、福岡県168校の順が多い。

課程別では、専門課程を置く学校は2,720校、高等課程を置く学校は441校、一般課程を置く学校は185校（課程併設校あり）。

◆**学生・生徒数** 全体では615,418人。

課程別では、専門課程は546,590人、高等課程は37,736人、一般課程は31,092人。

分野別では、医療202,203人、文化・教養131,647

人、工業78,528人、衛生75,861人、商業実務63,558人、教育・社会福祉39,455人、服飾・家政19,385人、農業4,781人。

修業年限別でみると、専門課程の3年以上4年未満で

専修学校 学校制度創設からの推移

年 校	学校数	学生・生徒数			
		計	高等課程	専門課程	一般課程
昭和51	893	131,492	25,286	90,619	15,587
52	1,941	356,790	58,083	268,990	29,717
53	2,253	406,613	68,063	310,800	27,750
54	2,387	416,438	68,556	321,379	26,503
55	2,520	432,914	68,334	337,864	26,716
56	2,745	472,808	73,944	356,479	42,385
57	2,804	478,934	73,012	361,937	43,985
58	2,860	512,180	77,358	385,911	48,911
59	2,936	536,545	81,263	404,153	51,129
60	3,015	538,175	85,920	398,821	53,434
61	3,088	587,609	93,222	434,489	59,898
62	3,151	653,026	103,255	483,220	66,551
63	3,191	699,534	110,736	521,574	67,224
平成1	3,254	741,682	116,775	559,046	65,861
2	3,300	791,431	116,681	611,503	63,247
3	3,370	834,713	113,294	658,150	63,269
4	3,409	861,903	107,165	691,343	63,395
5	3,431	859,173	101,157	701,649	56,367
6	3,437	837,102	96,490	684,790	55,822
7	3,476	813,347	92,197	664,562	56,588
8	3,512	799,551	87,895	659,057	52,599
9	3,546	788,996	83,927	652,072	52,997
10	3,573	761,049	76,367	634,379	50,303
11	3,565	753,740	72,331	635,369	46,040
12	3,551	750,824	68,877	637,308	44,639
13	3,495	752,420	62,552	642,893	46,975
14	3,467	765,558	57,067	659,780	48,711
15	3,439	786,091	52,901	685,350	47,840
16	3,444	792,054	49,129	697,212	45,713
17	3,439	783,783	45,889	695,608	42,286
18	3,441	750,208	42,560	667,188	40,460
19	3,435	703,490	40,141	627,397	35,952
20	3,401	657,502	38,731	582,864	35,907
21	3,348	624,875	37,548	552,711	34,616
22	3,311	637,897	38,349	564,640	34,908
23	3,115	615,418	37,736	546,590	31,092

※東日本大震災の影響により岩手県、宮城県及び福島県の数値は平成23年度には含まれていない。

185,601人、1年で24,152人、2年以上3年未満で284,131人、4年以上で49,198人、1年以上2年未満で3,508人。

◆入学者数 全体で297,152人。

専門課程は250,607人、このうち新規高卒者数は171,166人、大学等の卒業生数は、22,809人（内訳：大学卒業生17,864人、短大卒業生4,258人、高等専門学校卒業生687人）で入学者全体に占める割合は9.1%。

また、高等課程は16,486人、このうち新規中学校卒業生は8,052人。一般課程は30,059人。

◆卒業生数 全体では252,419人。

制度施行13年目となる専門課程卒業生の大学への編入生者数は1,978人。

◆教員数 本務教員数は38,696人。

本務教員1人に対する学生・生徒数は12.4人。また、兼務教員数は101,800人。

【各種学校】

◆学校数 全体で1,383校。

都道府県別の学校数は、東京都168校、愛知県100校、兵庫県96校、三重県61校の順で多い。

◆生徒数 全体で120,061人。

都道府県別にみると、東京都23,029人、愛知県13,683人、大阪府9,853人、兵庫県8,746人の順で多い。

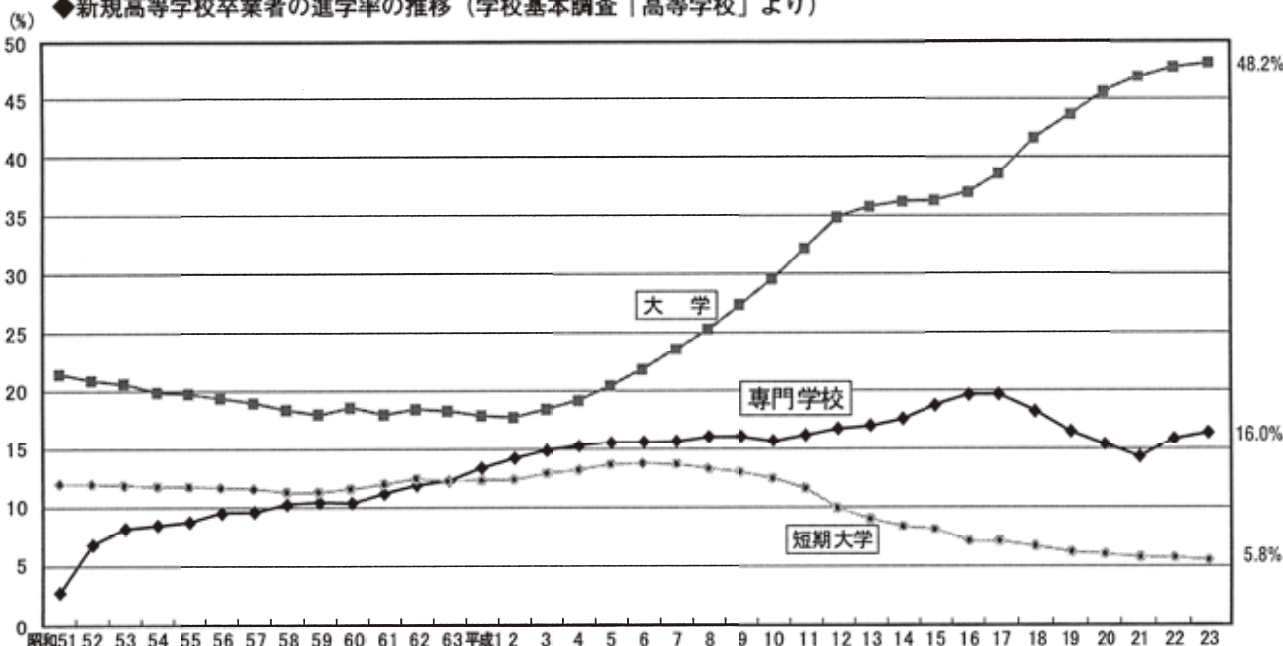
分野別では、その他分野（予備校・自動車操縦等）は79,824人、文化・教養は15,152人、商業実務は12,896人、医療は7,614人、家政は3,612人、衛生は578人、教育・社会福祉は195人、農業は105人、工業は85人。

平成23年度専修学校の課程・分野別在籍者数

	工業	農業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	合計
専門課程	73,843 13.5%	4,692 0.9%	188,961 34.6%	69,352 12.7%	38,474 7.0%	56,146 10.3%	15,711 2.9%	99,411 18.2%	546,590 100.0%
高等課程	4,658 12.3%	6 0.02%	13,130 34.8%	5,681 15.1%	976 2.6%	7,322 19.4%	2,910 7.7%	3,053 8.1%	37,736 100.0%
一般課程	27 0.1%	83 0.3%	112 0.4%	828 2.7%	5 0.02%	90 0.3%	764 2.5%	29,183 93.9%	31,092 100.0%
合計	78,528 12.8%	4,781 0.8%	202,203 32.9%	75,861 12.3%	39,455 6.4%	63,558 10.3%	19,385 3.1%	131,647 21.4%	615,418 100.0%

(注) 岩手県、宮城県及び福島県の数値は含まれていない。

◆新規高等学校卒業生の進学率の推移（学校基本調査「高等学校」より）



(注) 岩手県、宮城県及び福島県の数値は、平成23年度には含まれていない。

## 東日本大震災にかかる義援金の御礼・送金報告 ならびに募集期間延期のお知らせ

東日本大震災により被災されました地域の方々におかれましては、衷心よりお見舞い申し上げます。

また、この度、当会にて行わせていただきました義援金の募集活動におきましては、会員校の皆様を中心に多大なご協力をいただき、深く御礼申し上げます。

皆さまから賜りました温かいご厚意は、被災した専修学校各種学校ならびに学生生徒にとりまして、大きな励みとなることと存じます。

全専各連では、中込会長・中島副会長が岩手県・宮城県・福島県・茨城県を見舞うとともに、6月30日までにお寄せいただきました義援金42,672,073円（総件数176件）を、地域の被災状況を勘案のうえ、7月13日、以下のとおり送金させていただきました。

(社)岩手県専修学校各種学校連合会	10,650,000円
(社)宮城県専修学校各種学校連合会	14,272,073円
(社)福島県専修学校各種学校連合会	10,650,000円
(社)茨城県専修学校各種学校連合会	7,100,000円

※ 配分方法:義援金総額のうち42,600,000円を12等分し、岩手県3、宮城県4、福島県3、茨城県2の割合に

配分。残額72,073円は宮城県に加算。

なお、義援金の募集につきましては、都道府県協会等、学校関係者等より締め切り期日の延期要請のお声をいただき、本年12月31日まで継続させていただくことといたしました。

震災の復旧には、今後とも長い年月を要することと存じますので、引き続き下記口座まで義援金のご送金を賜りますよう、改めましてお願い申し上げます。

【募集期間】12月31日まで

【お振込先】りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金1722590

【口座名】全専各連義援金口（ゼンセンカクレンジエンキングチ）

※ 義援金の総額・総件数およびご協力をいただきました皆さまのご芳名につきましては、銀行から連絡のありましたカタカナ表記にてホームページに順次掲載させていただきます。匿名を希望なされる場合には、お手数ですが、全専各連事務局総務課までお電話をお願いいたします。



7月8日、中込三郎全専各連会長(右)が(社)福島県専修学校各種学校連合会を訪れ、岡部隆男福島県会長に義援金の目録を手渡した。



7月11日、中島利郎全専各連副会長(右)が(社)茨城県専修学校各種学校連合会を訪れ、八文字敏宏茨城県会長に義援金の目録を手渡した。



7月12日、(社)宮城県専修学校各種学校連合会を訪問。目録を受け取る橋本榮一宮城県会長(右)。



7月12日、(社)岩手県専修学校各種学校連合会を訪問。目録を受け取る龍澤正美岩手県会長(中央)。

### 会員校の皆様へ

#### ～3月31日までに入学を辞退した者に対する授業料等の取扱いについて～

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。

心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

## 春の叙勲・褒章の受章者 心よりお祝い申し上げます

平成23年度春の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。  
長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、  
心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

### \*瑞宝双光章

佐々木 健雄(東京都・東京総合理容美容専門学校元校長)  
平野 順一(岐阜県・大垣文化総合専門学校理事長)  
鈴木 とし(静岡県・華星女子文化学院学院長)  
久木田 隼人(鹿児島県・鹿児島鍼灸専門学校元校長)

### \*瑞宝単光章

谷内 昭治(北海道・札幌幼児保育専門学校理事長)

### \*黄綬褒章

井上 好弘(東京都・東京多摩調理製菓専門学校理事長)

### \*藍綬褒章

吉田 松雄(北海道・吉田学園情報ビジネス専門学校理事長)  
花岡 清二(長野県・エプソン情報科学専門学校理事長)

## 平成23年度ブロック会議開催状況

今年も、7月から8月にかけて下記のブロック会議が開催されました。詳細は、全専各連ホームページ「広報全専各連プラスWEB」に掲載しています。

○近畿ブロック会議(7月14日(木)兵庫県・神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者約140名)

○中国ブロック会議(7月15日(金)広島県・ANAクラウンプラザホテル広島 参加者約150名)

○九州ブロック会議(7月28日(木)～29日(金)佐賀県・唐津シーサイドホテル 参加者約160名)

○北海道ブロック会議(8月2日(火)～3日(水)京王プラザホテル札幌 参加者約100名)

○四国ブロック会議(8月19日(金)徳島県・徳島グランヴィリオホテル 参加者約80名)

○中部ブロック会議(8月23日(火)～24日(水)富山県・ANAクラウンプラザホテル富山 参加者約120名)

○北関東信越ブロック会議(8月29日(月)～30日(火)群馬県・福一 参加者約160名)

## 協会等新代表者選任・団体名変更・住所変更のお知らせ

<都道府県協会等代表者交代>

(社)福岡県専修学校各種学校協会

中村 哲(中村調理製菓専門学校)

<団体名・住所変更>

○一般財団法人日本ファッション教育振興協会

※一般財団法人格を取得

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-20-6

家庭クラブ会館 1F

T E L : 03.6300.0263

F A X : 03.6383.4018

# 専教振だより

財団法人専修学校教育振興会

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://jken.sgec.or.jp/>

B 検 <http://bken.sgec.or.jp/>

## J 検 情報検定 受験状況・結果

平成23年 6月19日(日)に文部科学省後援・情報検定(J 検)情報活用試験(前期)が下記のとおり実施された。  
受験状況・結果は次のとおり。

### ●ペーパー方式

出願団体数 90団体  
会場数 89会場  
3級 出願者数 1,587名

受験者数	1,507名
合格者数	1,337名
合格率	88.7%
2級 出願者数	3,197名
受験者数	2,973名
合格者数	1,671名
合格率	56.2%

1級	出願者数	1,599名	合格者数	506名
	受験者数	1,461名	合格率	71.4%
	合格者数	486名	2級	出願者数
	合格率	33.3%		1,151名
●C B T方式（平成23年4月1日～平成23年8月31日）				
出願団体数	63団体		合格者数	740名
出願者数	2,232名		合格率	64.3%
情報活用試験			1級	出願者数
				372名
3級	出願者数	709名	受験者数	372名
	受験者数	709名	合格者数	266名
			合格率	71.5%

## B 検 ビジネス能力検定 受験状況・結果

平成23年7月3日（日）に文部科学省後援第30回ビジネス能力検定（B 検）が実施された。受験状況・結果は次のとおり。

出願団体数	276団体
会場数	241会場
出願者総数	14,741名
3級	出願者数
	11,712名

受験者数	10,914名
合格者数	8,955名
合格率	82.1%
2級	出願者数
	3,029名
受験者数	2,727名
合格者数	1,188名
合格率	43.6%

## 専教振 第73回評議員会・第105回理事会を開催

6月21日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として専教振第73回評議員会・第105回理事会を開催。評議員会は正副理事長・財務担当常務理事・監事同席のもと、委任状を含めた出席者20名、理事会は監事同席のもと、委任状を含めた出席者20名を得て開会。

両会とも福田益和理事長が開会あいさつを述べた後、評議員会では、平田真一評議員が議長に就任、議事録署名人に齋木寛治評議員と氏原憲二評議員を選出。理事会では、福田理事長が議長に就任、議事録署名人に渡辺敏彦理事と田中幸雄理事を選出。

### 【第1号議案 平成22年度事業報告】

配布資料をもとに事務局が、会議の開催、教員研修・研究事業、出版事業、認定・表彰、保険事業、検定事業等、各事業の活動と成果の報告を行った。両会ともに質疑応答の後、出席者全員異議なく拍手承認。

### 【第2号議案 平成22年度第2次補正予算】

### 【第3号議案 平成22年度決算報告ならびに監査報告】

両会とも第2号議案と第3号議案について一括審議を行

った。坪内孝満財務担当常務理事が概要を説明した後、事務局が詳細を説明。続いて齋藤力夫監事が全て適正であるとの監査報告を行った。両会ともに質疑応答の後、出席者全員異議なく両議案を拍手承認。

### 【第4号議案 公益法人改革への対応】

両会とも「最初の評議員選定委員会委員の選任」「一般財団法人設立登記時の評議員候補者の選任」「一般財団法人設立時の諸規定」について審議。また、評議員会では「一般財団法人設立登記時の役員を選任」、理事会では「一般財団法人移行申請時の理事長・副理事長・常務理事の選任」について審議。両会ともに特に質疑はなく、出席者全員異議なく拍手承認。

### 【第5号議案 東日本大震災への対応】

理事長が「500万円の義援金を全国専修学校各種学校総連合会の義援金口座に拠出する」ことを提案。両会において出席者全員異議なく拍手承認。

以上により両会とも全議案の審議、承認を確認し、閉会。

## 平成23～24年度 年間予定日程

### <役員会・総会等>

#### ●都道府県協会等代表者会議

平成23年11/30（水）

東京都・アルカディア市ヶ谷

#### ●全専各連第114回理事会

平成24年2/23（木）

東京都・アルカディア市ヶ谷

#### ●全国学校法人立専門学校協会理事会

平成24年2/24（金）

東京都・アルカディア市ヶ谷

## ●全専各連第61回定例総会・第115回理事会

平成24年6/25(月)

東京都・アルカディア市ヶ谷

## ●全国学校法人立専門学校協会定例総会・理事会

平成24年6/26(火)

東京都・アルカディア市ヶ谷

## &lt;その他会議&gt;

## ●平成24年度事務担当者会議

平成24年4/20(金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

## &lt;平成23年度ブロック会議&gt;

## ●東北ブロック会議

平成23年10/19(水)

青森県青森市・青森国際ホテル

## ●南関東ブロック会議

平成23年10/21(金)

神奈川県横浜市・横浜ロイヤルパークホテル

## &lt;検定試験&gt;

## ●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇平成23年度後期試験

【情報活用】平成23年12/11(日)

【情報システム】平成24年2/12(日)

◇C B T試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】

実施期間：随時

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

## ●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)

◇第31回【1級1次・2級・3級】

平成23年12/4(日)

## &lt;研修会&gt;

## ●学校評価等研修会

◇東京会場・東京ガーデンパレス

平成23年11/21(月)

◇大阪会場・大阪ガーデンパレス

平成23年12/2(金)

## ●キャリア教育技法研修会

◇東京会場・東京ガーデンパレス

平成23年11/22(火)

◇大阪会場・大阪ガーデンパレス

平成23年12/1(木)

## &lt;その他&gt;

## ●第66回全国私立学校審議会連合会総会

平成23年10/13(木)～14(金)

愛媛県・松山全日空ホテル

## ●平成23年度全国生涯学習ネットワークフォーラム(まなびピア東京2011)

平成23年11/5(土)～6(日)

東京都・文部科学省他

## 広報全専各連プラスWEB 掲載記事一覧

詳細は全専各連ホームページ【広報全専各連】→プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/>

■ブロック会議報告(近畿、中国、九州、北海道、四国、中部、北関東信越)

■専門部会等総会

<分野別専門部会総会>

○公益社団法人全国経理教育協会定例総会

○全国語学ビジネス観光教育協会定例総会

○全国予備学校協議会定例総会

○特定非営利活動法人全国美術デザイン教育振興会定例総

会

○全国専門学校日語教育協会定例総会

○(社)全国珠算学校連盟定例総会

○一般社団法人全国専門学校情報教育協会定例総会

○全国専門学校リハビリテーション協会定例総会

■研修会・イベントなど

<専教振主催研修会>

○キャリア・サポーター養成講座

<部会・関係団体等主催>

○第21回全国高等専修学校体育大会

○日本留学フェア(台湾・香港)

### 日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

今般の震災により被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)は、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656(又は03-5321-8656)**

# J検

文部科学省後援  
「創る」「使う」「伝える」  
情報検定

■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<http://jken.sgec.or.jp/>

## 情報活用試験

平成23年度後期

試験日 平成23年12月11日(日)

実施級/受験料 1級 — 4,000円

2級 — 3,500円

3級 — 2,500円

## 情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級 — 3,500円

上級 — 4,000円

## 情報システム試験

平成23年度後期

システムエンジニア認定

プログラマ認定

試験日 平成24年2月12日(日)

実施級/受験料 基本スキル ————— 3,000円

システムデザインスキル — 2,500円

プログラミングスキル — 2,500円

## 情報検定にCBT方式を導入しました!

\*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

◇対象となる試験は、情報活用試験「1級」「2級」「3級」と、情報システム試験の「基本スキル」、情報デザイン試験「初級」「上級」です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)

# Bken

産学協同で就職活動を応援します。

文部科学省後援

## ビジネス能力検定

■第31回試験日/平成23年12月4日(日)

■出願期間/9月1日(木)~10月18日(火)

■実施級・受験料/1級(6,000円)・2級(3,800円)・3級(2,800円)

<http://bken.sgec.or.jp/>

【想定受験者層と主な出題範囲】

1級

●組織人としてリーダーを目指す方 ●目標設定と評価基準、業務の改革と知的生産性の向上、情報の加工、評価とIT、企画の推進方法、プレゼンテーションの方法、財務面での事業の見方、マーケティングの基本、後輩と仕事をするには、人を説得する、などリーダーに求められる幅広い能力。

2級

●中堅社員として活躍している方 ●仕事の進め方、計画・スケジュール立案と予算管理、仕事の改善と問題解決、会議への参加と協力、議事録・報告書などの書き方、情報収集の方法と新聞の読み方、チームワーク、商談の進め方、人的ネットワークの形成など、仕事に活用できるビジネススキル。

3級

●これから社会人になる方や新入社員の方 ●仕事への取り組み、指示、報告と連絡・相談、パソコンの仕事への活用、ビジネス文書の基本、職場の人間関係、話し方の基本、電話応対、来客応対など、社会常識とマナーを中心とした基礎能力。

※第32回検定は平成24年7月1日(日)2,3級実施

# I. 疾病補償型学生新補償制度

傷害治療にともなう諸費用（治療実費、交通費、差額ベッド代等）や全疾病を24時間補償し、学校の保証人に生じた疾病を含む災害を補償することにより、複雑化した社会のニーズに対応できる内容です。


# II. 教職員新補償制度 *New*

教職員新補償保険は、常勤職員および非常勤職員の業務従事中（国内外を問いません）のケガ、または特定疾病による死亡、後遺障害、入院、通院について補償（通勤途上を含みます）する制度です。また、常勤・非常勤職員が業務を原因として損害賠償を求められ、負担する損害に対し保険金をお支払いします。

また、使用者賠償責任保険は、従業員の労働災害について、被災従業員もしくは遺族から損害賠償請求を受け、貴校が負担する損害賠償金等をお支払いします。

# III. リスク評価対応型火災保険 *New*

一定規模の施設に対し物件調査をすることによるリスク評価割引等により当社比最大50%の割引が適応可能となります。

認定事務局 株式会社 ジャパン・プロテクト・システムズ  0120-396-390

大阪事務局：〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目I-22 NK谷町ビル

東京事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目8-20 ASOビル4F

引受保険会社（保険についてのお問い合わせ）

エース損害保険株式会社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

Tel：03-5740-0600（代） [L1010883]

三井住友海上火災保険株式会社 堺支店堺第一支社 〒590-0952

大阪府堺市堺区市之町東6-2-9 三井住友海上ビル4F

Tel：072-222-6301 FAX：072-223-4497

日新火災海上保険株式会社 堺支店 〒590-0063 大阪府堺市堺区中安井町3-2-13

Tel：072-238-1985

## 専修学校各種学校学生・生徒災害傷害保険のご案内

財団法人専修学校教育振興会

### 補償内容

学生・生徒の日常の大半を占める、正課中、学校行事中、学内休憩時間中、課外活動中の傷害事故

正課中、実習中（医療関連実習を除きます。）学校行事中、課外活動その他の学校管理下における活動中の賠償事故



通学中等傷害保険特約を付帯することにより、通学中、学校施設等相互間の移動中の傷害事故等も補償できます。学校施設との間を往復する場合等の傷害事故・賠償事故

病院または診療所等の臨床実習が行われる施設内において、被保険者が直接間接を問わず、感染症の病原体に予期せず接触し、医師の指示または指導に基づき、感染または発症を予防することを目的とする検査、投薬等の感染症予防措置を受けた場合に保険金をお支払いします。

### 補償金額・保険料

補償内容	正課中 学校行事参加中 学内休憩時間中		左記以外で学校施設内にある間 学校施設外での学校に届け出た、課外活動を行っている間 通学中(*) 学校施設等相互間の移動中(*)	
	昼間部	夜間部	昼間部	夜間部
死亡保険金	2,000万円	1,200万円	1,000万円	600万円
後遺障害保険金	90万円～ 3,000万円	54万円～ 1,800万円	45万円～ 1,500万円	27万円～ 900万円
入院保険金	事故の日からその日を含めて180日を限度に1日につき4,000円			
手術保険金	事故の日からその日を含めて180日以内の手術 手術の種類に応じて4万円、8万円または16万円			
通院保険金	事故の日からその日を含めて180日以内の通院に限り通院日数90日を限度に1日につき昼間部の場合1,200円・夜間部の場合1,000円			
臨床実習中	接触感染予防保険金（特約加入者が事故の日からその日を含めて180日以内に感染症予防措置を受けた場合） 支払保険金：1事故につき15,000円（定額払い）			
賠償責任保険	対人補償 1名 5,000万円限度/1事故5億円限度 対物補償 500万円限度			

下記は学生生徒1人あたりの保険料です

保険期間	昼間部		夜間部		接触感染予防 保険金 支払特約 昼間部共通
	通学特約 無	通学特約 有	通学特約 無	通学特約 有	
1年	440円	700円	450円	630円	20円
2年	770円	1,250円	820円	1,160円	40円
3年	1,120円	1,810円	1,190円	1,680円	50円
4年	1,430円	2,310円	1,510円	2,140円	70円

※半年単位での契約も可能です

### インターンシップ活動賠償責任保険

学生がインターンシップ活動中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を壊してしまい法律上の賠償責任を負った場合に保険金をお支払いする、賠償責任保険制度です。

### 補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

### 補償金額・年間保険料

活動内容	補償金額
正課・学校行事または課外活動として行われるインターンシップ活動	対人 1名1事故につき 1億円限度 対物 250万円限度 (免責金額5,000円) 生産物 受託者 保険期間中1億円限度
保険料 (1人につき)	250円

### 医療分野学生生徒賠償責任保険

「学生生徒災害傷害保険」に付帯されている賠償事故補償においては、「臨床、看護、歯科衛生、技工、診療放射線、理学療法、柔道整復、あんま、マッサージ、はり、きゅう」などの医療関連実習の際の学生生徒の賠償責任事故が対象外となっていました。この保険では、正課および学校行事として行われる学校の管理下（インターンシップ活動も含みます。）の上記医療関連実習における学生生徒の賠償責任事故を補償します。

### 補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

### 補償金額・年間保険料

補償内容	補償金額
対人 1名につき	1億円限度
1事故につき	1億円限度
対物 1事故につき	1億円限度
自己負担額 (免責金額)	なし
保険料 (1人につき)	1,000円

### 学校賠償責任保険

学校およびその教職員の過失によって、学生生徒または第三者に対する賠償事故が発生し、学校が法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いする保険制度です。

### 補償の対象者

各学校及びその教職員

### 補償金額・年間保険料

補償内容	補償金額
対人 1名につき	5,000万円限度
1事故につき	5,000万円限度
対物 1事故につき	300万円限度 (免責金額：1万円)
保険料 (1人につき)	4月1日～翌年3月31日 42円 (1ヵ月単位での契約が可能です)

### 個人情報漏えい保険

本保険は、2つの補償で構成されており、①賠償責任部分：個人情報の漏えいによって、学校が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金をお支払いします。②費用部分：個人情報漏えいし、学校が事故への対応のために支出した必要不可欠な各種費用について保険金をお支払いいたします。

### 補償の対象者

各学校

### 補償金額・年間保険料

ご契約タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
支払賠償責任部分 引限度 (1請求・期間中)	1,000万円	3,000万円	1億円
費用部分 (1事故・期間中)	100万円 (縮小支払率30%)	300万円 (縮小支払率30%)	1,000万円 (縮小支払率50%)
自己負担額 (免責金額)	賠償・費用ともに1事故につき 各20万円		
学生生徒数	Aタイプ ～350名	Bタイプ 3万円	Cタイプ 5万円
保険料	351～500名 501～1,000名 1,001名～	※	※

※保険料が記載されていないゾーン( )部分の保険料については、弊社一風和事務所までお問い合わせ下さい。

※この案内は専修学校各種学校学生・生徒災害傷害保険、施設賠償責任保険、生産物賠償責任保険、受託者賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレット（重要事項説明書）をご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款になりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。



東京海上日動火災保険株式会社 (担当課)

公務第2部公務第1課  
東京都千代田区三番町6-4  
電話03-3515-4133



三井住友海上

株式会社 損害保険ジャパン

この保険約款は、上記保険会社による共同保険約款であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体誌にてご確認ください。